

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2016-53057(P2016-53057A)

【公開日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2015-214045(P2015-214045)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4025 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 13/12

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 P 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

糖尿病性腎症を有するヒト対象において糖尿病性腎症を治療する方法における使用のための、アトラセンタンまたはその塩を、アンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシンII受容体遮断剤と組み合わせてなる薬物であって、

前記方法は、アトラセンタンまたはその塩、およびアンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシンII受容体遮断剤の少なくとも一つの、用量を対象に投与することを含む、前記薬物。

【請求項2】

方法が糖尿病性腎症の進行を遅延させる、請求項1に記載の薬物。

【請求項3】

方法が、アンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシンII受容体遮断剤の用量を、ヒト対象における最も高い耐用量で投与することを含む、請求項1または2に記載の薬物。

【請求項4】

対象が顕性期の糖尿病性腎症を有する、請求項1から3のいずれかに記載の薬物。

【請求項5】

方法が、アトラセンタンまたはその塩を少なくとも3ヶ月の期間投与することを含む、請求項1から4のいずれかに記載の薬物。

【請求項6】

アトラセンタンまたはその塩がアンギオテンシン変換酵素阻害剤またはアンギオテンシンII受容体遮断剤と共に投与される、請求項1から5のいずれかに記載の薬物。

【請求項 7】

方法が、糖尿病性腎症の1種類以上の形態学的マーカーにおいて有益な作用をもたらすことを含む、請求項1から6のいずれかに記載の薬物。

【請求項 8】

糖尿病性腎症の形態学的マーカーが、糸球体硬化である、請求項7に記載の薬物。

【請求項 9】

方法が、アルブミン尿、糸球体濾過率(GFR)またはクレアチニクリアランスにより示される腎機能において有益な作用をもたらすことをさらに含む、請求項1から8のいずれかに記載の薬物。

【請求項 10】

方法が、末期腎臓病または慢性腎不全までの時間を延長させることをさらに含む、請求項1から9のいずれかに記載の薬物。

【請求項 11】

アンギオテンシン変換酵素阻害剤が、ベナゼプリル、カプトプリル、エナラプリル、フォシノプリル、リシノプリル、モエキシプリル、ペリンドプリル、キナプリル、ラミプリル、トランドラプリルおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される、請求項1から10のいずれかに記載の薬物。

【請求項 12】

アンギオテンシンII受容体遮断剤が、カンデサルタン、エプロサルタン、イルベサルタン、ロサルタン、オルメサルタン、タソサルタン、テルミサルタン、バルサルタンおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される、請求項1から11のいずれかに記載の薬物。

【請求項 13】

アトラセンタンまたはその塩と、さらに、クロロチアジド、クロルタリドン、ヒドロクロロチアジド、インダパミド、メトラゾン、ポリチアジド、ブメタニド、フロセミド、トルセミドおよびそれらの組み合わせからなるグループから選択される利尿剤とを組み合わせてなる、請求項1から12のいずれかに記載の薬物。

【請求項 14】

ヒト対象が2型糖尿病と診断されている、請求項1から13のいずれかに記載の薬物。